

各 位

上場会社名 朝日工業株式会社
 代表取締役社長 赤松 清茂
 (コード番号 5456)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 中村 紀之
 (TEL 03-3987-2161)

通期業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当無配)及び繰延税金資産の一部取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2013年5月10日に公表した2014年3月期の通期業績見通しを修正し、本日開催の取締役会において、2013年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を無配とすることを決定いたしましたのでお知らせいたします。

また、2014年3月期第2四半期累計期間におきまして、繰延税金資産の一部取崩しを行いましたのでお知らせいたします。

記

●通期業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	780	700	500	71.43
今回修正予想(B)	45,000	230	160	△670	△95.71
増減額(B-A)	0	△550	△540	△1,170	
増減率(%)	0.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	40,175	△1,176	△1,235	△1,480	△211.48

(注)当社は、2013年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算出しております。

平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	42,400	—	500	350	50.00
今回修正予想(B)	42,400	130	10	△760	△108.57
増減額(B-A)	0	—	△490	△1,110	
増減率(%)	0.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	37,690	△1,254	△1,394	△1,841	△263.11

(注)当社は、2013年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。個別業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算出しております。

修正の理由

売上高につきましては、連結・個別とも2013年5月10日に公表した業績予想通りですが、当社の主力事業である鉄鋼建設資材事業の業績見通しが、前回予想に比べ減益となることから、連結・個別の営業利益、経常利益、当期純利益について、2013年5月10日に公表した業績予想を修正いたします。

当社の鉄鋼建設資材事業の主力製品である鉄筋は、鉄筋加工の人手不足で施工が進まない中、供給過剰感が強く、需要回復が遅れております。このため、販売価格が前回予想時の計画値を下回ることが見込まれます。さらに、主原料である鉄スクラップ価格は高値で推移しており、前回予想時の計画値を上回ることが見込まれます。

一方、年間を通じてコストダウン活動や省エネルギー活動を継続し、コスト削減に努めておりますが、エネルギーのコストアップが続いており、このアップ分を全て吸収するには至っておりません。

このような状況のもと、前回予想に比べ減益となる見込みです。

また、当期純利益につきましては、後記の通り繰延税金資産の一部取崩しにより、前回予想時の計画値に比べ減益となる見込みです。

●剰余金の配当(中間配当無配)の内容について

	決定額	直近の配当予想 (2013年8月5日公表)	前期実績 (2013年3月期)
基準日	2013年9月30日	同左	2012年9月30日
1株当たり配当金	0円	未定	3,000円
配当金の総額	—	—	210百万円
効力発生日	—	—	2012年12月6日
配当原資	—	—	利益剰余金

※2013年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。したがって、2013年3月期の中間配当金につきましては、株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

修正の理由

当社の配当方針は、業績、財政状態および企業価値の向上に向けた事業投資のための資金需要などを総合的に勘案したうえ、株主の皆様への利益還元を図りたいと考えております。

しかしながら、本日開示いたしました「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」でお知らせいたしました通り、現在の業績、財務内容および経営環境等は依然として厳しい状況が続いていることから、これらの事情と今後の事業計画等を総合的に勘案した結果、中間配当を無配とさせていただきます。

株主の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、かかる状況について何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては、今後の業績動向を見極めつつ慎重に検討してまいりますので、未定とさせていただきますことを併せてご報告申し上げます。

●繰延税金資産の一部取崩しについて

当期の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2014年3月期第2四半期連結累計期間において、繰延税金資産572百万円を取り崩すこととし、法人税等調整額の一部として計上しております。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上